

思い出と友との絆を宝物に新たなスタート 只見中学校卒業証書授与式

春の訪れを感じる晴天に恵まれた3月13日、只見中学校の第6回卒業証書授与式が、同校体育館で厳粛に行われました。

3年間の思い出を胸に只見中を巣立つ39名の卒業生一人一人に、吉津政一只見中学校長から卒業証書が手渡されました。

吉津校長は、「これからも学ぶ気持ちを続け、持つていく力を惜しみなく発揮し、夢に向かって突き進んでください」と式辞を述べました。また、在校生送辞で加藤正靖さんは「先輩方が築いた伝統をしっかり守っていきます。先輩方も思いや

る心を忘れず、しっかりと人生を歩んでください」と述べました。

次に、卒業生答辞で島谷拓実さんが「楽しい学校生活を過ごせたのは先生方のおかげ、卒業できたのは家族のおかげです。39名の卒業生が大切な3年間を只見中で過ごせたことを誇りに思います。ありがとうございます」と述べました。

最後に、卒業生や在校生が式歌の「旅立ちの日に」などを合唱し、別れを惜しむ卒業生のなかには涙を流す生徒も見られました。卒業生の皆さん、おめでとうございます。



▲卒業証書を手に見中を巣立つ卒業生



▲卒業証書を受け取る卒業生



▲別れのことばを述べる卒業生

6年間の大切な思い出はみんなの宝物 町内小学校卒業証書授与式

春の日差しが心地いい3月22日、只見・朝日・明和の各小学校では卒業証書授与式が行われました。

只見小学校では、6年間の全課程を修了した19名の児童に、高橋吉博只見小学校長から卒業証書が手渡され、受け取った卒業生は一人一人、お父さんやお母さんの前に行き、「6年間楽しく只見小学校で生活できたのは、家族みんなのおかげです。中学校でも勉強や部活動ががんばります」と話し感謝の気持ち

を伝えました。

高橋校長は、「明るく元気に生活してください。常に真心で全力投球してください。感謝の心を忘れないでください。中学校で大きく成長し、夢に向かって前進することを期待します」と式辞を述べました。

最後の別れのことばでは卒業生が6年間見守り育ててくれた感謝の気持ちを伝えました。各小学校を卒業された皆さん、おめでとうございます。

楽しく過ごした保育所とお別れ 明和保育所 修了式

3月26日、明和保育所で「修了式」が行われ、年長組のお友だち17名が思い出とともに巣立ちました。

渡部あき子保育所長はあいさつで「皆さんは、立派な1年生になれます。小学校でもみんな仲良く、上級生に親しまれる1年生になってください」と述べました。

式では、在所児がお祝いのことばを述べ、お祝いの歌を歌い、年長の修了児はお別れのことばを述べ、お別れの歌を歌って、先生やお友だちとの別れを惜しみました。

また、式のあと修了児全員で手作りの紙芝居を発表したり、手話をしながら「上を向いて歩こう」を

上手に歌い、最後に「1年生になっても元気いっぱいがんばります」と力強くメッセージを述べました。この日は、只見と朝日の保育所でも行われました。



▲手話をまじえた歌を披露する修了児

英語の能力アップを支援 英語力向上プラン事業

町では、只見中学校で英語を学ぶ生徒の能力向上を目指し、財団法人日本英語検定協会が行う英語検定を受験する生徒に対し、検定料を支援する「英語力向上プラン事業」を行なっています。

対象は、第2学年の生徒で3学期に行われる検定に受験する場合に1回、検定料を全額支援します。この事業を行うことにより、中学校で学ぶ英語の学力向上が図られ、生徒一人一人の目標を達成するための学習意欲の高揚にも効果があると考えられます。本事業は今後も継続して行われます。



▲合格証を手にする生徒

全国編み組工芸作品展 飯塚喜一さんが入賞

奥会津三島編組品振興協議会が主催する「第12回全国編み組工芸作品展」が3月16から17日の二日間、三島町交流センター山びこで開かれました。

同工芸作品展には全国から100人が手作りの編み組工芸品662点を出品、審査の結果、飯塚喜一さん（坂田）の「こしざる」が福島中央テレビ賞に輝きました。

飯塚さんは「数多くの作品の中から選ばれてうれしい。なかなか納得のいくものは作れないが、これからも技術を磨いていきたい」と笑みを浮かべ話しました。おめでとうございます。



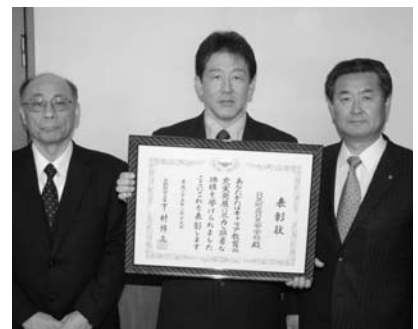
▲表彰状を手にする飯塚さん

文部科学大臣から表彰 只見中学校

文部科学省が行うキャリア教育優良学校等表彰事業で、只見中学校（吉津政一校長）が、文部科学大臣から表彰されました。福島県内では唯一の表彰です。

只見中学校では、望ましい職業観と人間関係形成能力の育成を目的に教育課程にキャリア教育を取り入れ、充実に向け様々な事業に取り組んでいます。その一環として2年生を対象に会津若松市内などで職場体験を行い、生徒に貴重な体験をさせ目的意識を高めさせるなど、効果的な教育活動を展開しています。

このように教職員が一丸となり取り組んでいる事業の実施が評価され、表彰されたものです。



▲表彰状を手にする中田教諭と吉津校長(左)と目黒町長